

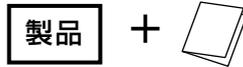
取扱説明書

REV COUNTER

SHIFT LAMP & REV COUNTER for Pros

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

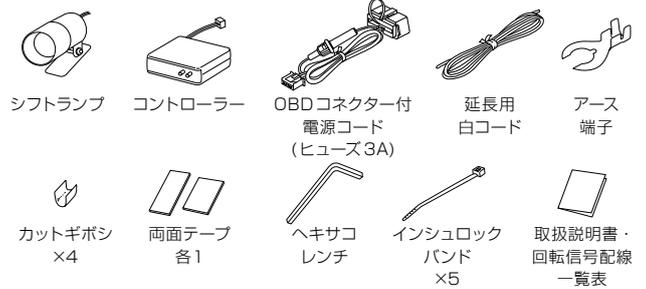
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



目次

セット内容・警告・注意	1
特長	1
配線接続方法	2
製品の固定	3
各種設定	3
基本操作方法	4
ピーク表示とリセット	4
故障かな?と思ったら	4

内容物をご確認ください



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- **換気の悪い場所で作業しない**
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- **コードの被ふくを傷付けない**
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輪破損の危険があります。
- **運転中に操作をしない**
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- **製品固定や配線処理は確実にを行う**
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

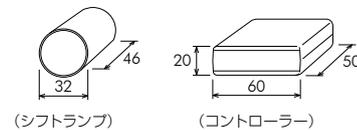
- **DC12V車で使用する**
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- **装着直後は製品に強い力を加えない**
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- **薬品類は使用しない**
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- **高温となる場所や水のかかる場所には装着しない**
故障の原因となります。
- **ネジ・部品は元の状態に戻す** ● **まぶしく感じる場所には装着しない**
- **加工・分解および改造をしない**

特長

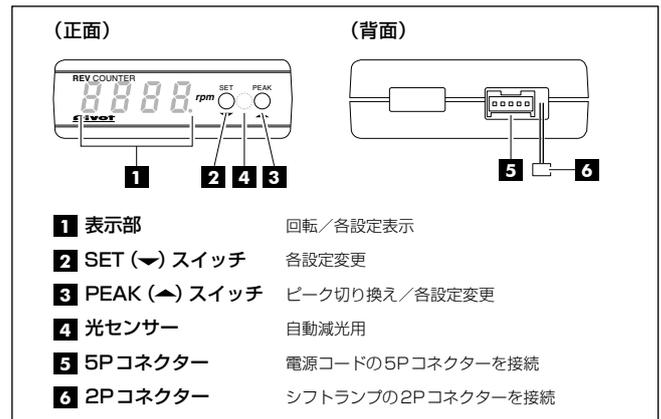
- **シフトランプ**
シフトランプは設定したエンジン回転数に達すると点灯
・昼間でも見やすい超高輝度LED
・夜間まぶしくない減光機能（自動またはスモール連動）
・アルミ削り出しの高質感で首振りも可能
- **デジタルタコメーター**
シフトランプなどの設定とエンジン回転を表示
・エンジン回転を9999rpmまで1rpm単位に高精度表示
・シフトランプ点灯設定は100rpm単位
・エンジン回転はリアルとピーク表示が可能
・場所をとらない小型コントローラー
- **アラーム**
シフトポイントのアラーム音でもお知らせ
- **簡単装着**
トヨタ、ダイハツ車の一部は故障診断コネクタに差し込むだけの簡単装着。他の車種はECUなどに接続。
- **対応車**
12Vガソリン車（一部ディーゼルも可能）
1・2・3・4・5・6・8気筒

■ サイズ

[単位：mm]



コントローラーの名称

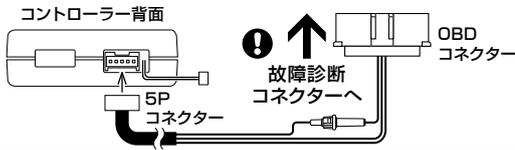


配線接続方法

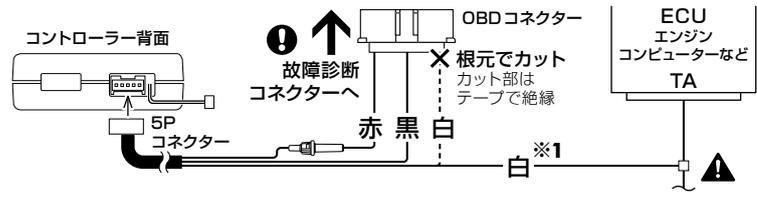
1 電源と回転信号の接続

表中記号：□=カットギボシ(またはハンダ付け)

Aタイプ：付属の「回転信号配線一覧表」で「カプラーオン取付覧」が●・◎印の車種(トヨタ・ダイハツ・MINI(BMW)車の一部)

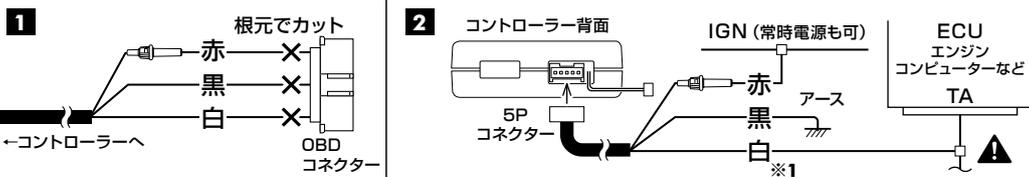


Bタイプ：その他の車種(故障診断コネクタ装着車)



Cタイプ：故障診断コネクタがない車種または使わない場合

故障診断コネクタを使用せず配線を直接行う場合は、OBDコネクタの根元で各コードをカットして配線してください。



※1
白コードの長さが足りない場合は、付属の白コードで延長してご使用ください。
【参考2】カットギボシの使い方参照(⇒2ページ下)

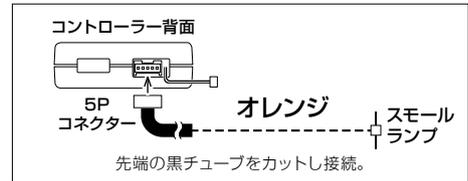


配線コード説明

コード色	接続場所	詳細
赤	IGN	キー ON で 12V がでる場所 (常時電源も可)
黒	GND	アースが確実に取れるネジなど
白	TA	エンジン回転信号
オレンジ	イルミ	スモール ON で 12V がでる場所

オレンジコードの配線

- スモール運動での減光の場合 ⇒ オレンジコード接続
- 自動減光の場合 ⇒ オレンジコード接続不要



⚠ ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

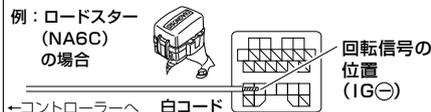
- 両方接続しても正常に動作する
- 動作しない、または不安定な動作をする

→ そのまま使用可能。

→ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

⚠ 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

●ダイアグノシス(チェックコネクタ)からとる場合



●イグニッションコイルからとる場合

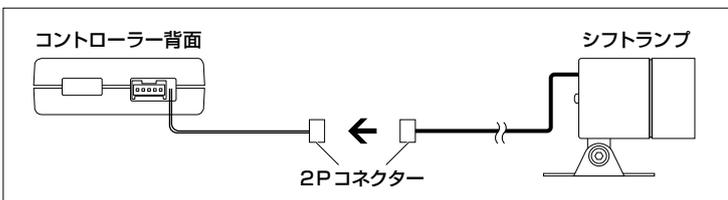


イグニッションコイルやダイアグノシスへ接続して回転数表示が極端に少ない場合

例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。
▶ 気筒設定数を「1」にします。(⇒3ページ **設定 A 気筒数設定**)

2 コントローラーとシフトランプの接続

シフトランプからの2Pコネクタをコントローラー背面から出ている2Pコネクタに差し込む。



【参考1】OBDコネクタ取扱時の注意点



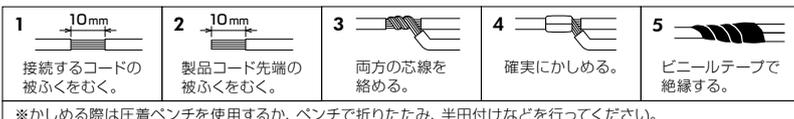
注意
コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。



【参考2】カットギボシの使い方



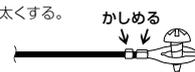
※かしめる際は圧着パンチを使用するか、パンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。

⚠ OBD製品の併用について

本製品を3-driveシリーズなどのPIVOT製OBD装着製品と併用する場合、別売のOBD配線キット(OBD-EH)を使用すると簡単に取り付けられます。製品の併用についての詳細は、こちらをご覧ください。
⇒ <https://pivotjp.com/obd/>
※本製品と上記の製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

【参考3】付属アース端子の使い方

1. 黒コードの先端を10mm位むく。
2. コードの芯線を折りたたむように太くする。
3. アース端子をかしめる。
4. アースの取れるネジへ。



製品の固定

シフトランプの取り付け		コントローラーの取り付け	
<p>(装着場所例)</p> <p>ダッシュボード上 コラムカバー上</p>	<p>(装着方法)</p> <p>六角穴付ネジ ① 両面テープで固定。 (貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。) ② 見やすい角度に合わせたからネジを固定。 お好みの角度に調整 両面テープ(付属) 汚れ・油分をキレイにする</p>	<p>(装着場所例)</p> <p>メーターフード上 メーターフード下 コラムカバー上</p>	<p>(装着方法)</p> <p>製品 両面テープ(付属) 汚れ・油分をキレイにする。 両面テープで固定。(貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。)</p>

各種設定

設定 A 気筒数設定

SET 5秒長押し

クルマごとの気筒数を設定します。

- キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で SET スイッチ を 5 秒長押し
- 例) P-4 気筒数表示 (出荷時は 4 気筒に設定されています)
- スイッチを押すごとに表示が切り換わります。

気筒数の表示パターン

1気筒 2気筒 3気筒 4気筒 5気筒 6気筒 8気筒 特A

P-1 P-2 P-3 P-4 P-5 P-6 P-8 P-A

- スイッチを はなし 5 秒
- 表示消灯

※1気筒、2気筒設定の場合、必要に応じて信号レベル設定をLoにしてください。
⇒ 設定C 信号レベル設定 をご参照ください。

- 気筒数設定は出荷時に4気筒設定されていますが、設定後は前回の設定値を表示します。
 - 2サイクルの場合は気筒数を2倍にして設定してください。
(例：2サイクル3気筒車の場合は6気筒設定)
- 【参考】
- 1気筒車：日産車(フェアレディZ Z33)・マツダ車(アテンザ等)
 - 2気筒車：マツダ車(RX-8)・スバル車(プレオ初期型等)
 - 4気筒車：ロータリー車(RX-7)
 - 特A：日産マーチ/キューブ等のHR型エンジン搭載車

設定 B 回転数設定

SET 押す

シフトランプが点灯するエンジン回転数を設定します。
(設定範囲 = 2000 ~ 9900rpm まで 100rpm 単位)

- エンジン回転表示中に SET スイッチ を 1 回押しします。
- 例) 3500 現在の設定を点滅表示 (例：3500rpm 設定時)
設定中にシフトランプは点灯しません。
- スイッチを押すごとに設定が 100rpm 下がり、スイッチを押すごとに 100rpm 上がります。
※スイッチを押している間は設定が連続して変化します。
- スイッチを はなし 5 秒
- エンジン回転表示

設定 C 信号レベル設定

PEAK 5秒長押し

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。
日産(フェアレディZ Z33)・マツダ(H14年以降の一部)・三菱(コルト他)・スバル(プレオ初期型等)
※詳細は付属の回転信号線一覧表をご覧ください。

- キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で PEAK スイッチ を 5 秒長押し
- H, または L 表示
- スイッチを押すごとに表示が切り換わります。
H 一般の場合 ↔ L 小さい場合
- スイッチを はなし 5 秒
- 表示消灯

設定 D アラーム設定

SET 3秒長押し

シフトランプの点灯時に鳴るアラームを設定します。

- エンジン回転表示中に SET スイッチ を 3 秒長押し
- 例) R.on 現在の設定を表示 (例：アラーム設定 ON)
- スイッチを押すごとに表示が切り換わります。
R.on アラーム ON ↔ R.off アラーム OFF
- スイッチを はなし 5 秒
- エンジン回転表示

●各種設定時はアラームをOFFにしている場合でも鳴ります。

設定 E 減光設定

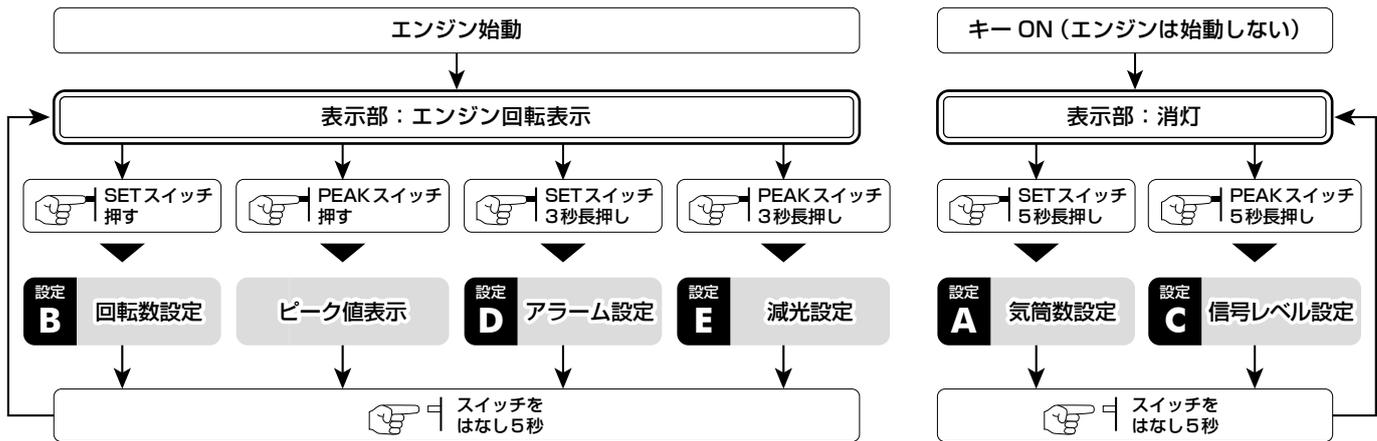
PEAK 3秒長押し

シフトランプの自動減光を設定します。

- エンジン回転表示中に PEAK スイッチ を 3 秒長押し
- 例) 5.on 現在の設定を表示 (例：減光設定 ON)
- スイッチを押すごとに表示が切り換わります。
5.on 減光 ON ↔ 5.off 減光 OFF
- スイッチを はなし 5 秒
- エンジン回転表示

- オレンジコード接続時、スモールランプをONにしている場合はこの機能が働きません。
- コントローラーに光センサーがありますので、コントローラーを暗い場所へ設置した場合には、減光したままとなることがあります。

基本操作方法



※設定に関しては3ページ「各種設定」をご参照ください。

ピーク表示とリセット

ピーク値の表示方法

- 1 **エンジン回転表示** PEAKスイッチを押す
エンジン回転表示中にPEAKスイッチを1回押します。
- 2 例) **6850.** ピーク値を表示 (例：ピーク値=6850rpm)
ピーク値表示中は最下位ドットが点灯します。
- 3 スwitchをはなし5秒
- 4 **エンジン回転表示**

ピーク値のリセット方法

- 1 PEAKスイッチを3秒長押し
上記の手順にてピーク値を表示中にPEAKスイッチを3秒長押しすると、ピーク値がリセットされ、エンジン回転表示に戻ります。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動しても回転数表示しない。	各コードの接続または接触不良。	再度ご確認ください。
	OBDコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号検出レベルがあていない。	3ページ「設定C」、対応車表を再度ご確認ください。
コントローラーの回転数表示が、純正や他メーターと大きく違う。	気筒数設定の誤り。	3ページ「設定A」を再度ご確認ください。 (純正タコメーターとの精度の違いにより、多少の誤差が生じる場合もあります。)
	信号レベルの誤り。	3ページ「設定C」を再度ご確認ください。
シフトランプが点灯しない。	設定した回転数に達していない。	3ページ「設定B」を再度ご確認ください。
	2Pコネクターの接続不良。	再度ご確認ください。
スモールONにしてもシフトランプが減光しない。	オレンジコードの接続または接触不良。	再度ご確認ください。
	オレンジコードの配線間違い。	再度ご確認ください。
シフトランプが減光したままになっている。	コントローラーが暗い場所に取り付けてある。	コントローラーを明るさの変化する場所へ取り付け直してください。
エンジン停止中にコントローラーの表示が点灯する。	クルマ側のノイズ(ドアロック等)で一時的に動作してしまう。	一時的な動きであれば支障ありませんが、気になる場合はOBDコネクターの赤コードをカットしIGN(キーONで12V)へ接続してください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーマイナス端子を外したことによる。	バッテリーマイナス端子を戻し、各説明書に従って再設定をしてください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。

※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。

※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。